

貴帝第八十六國議院
外資金庫法案特別委員會議事速記錄第七號

(四五)

ゲテ見タイト思ヒマス、先ヅ第四條乃至第五條ノ所デゴザイマスルガ、損害保険中央會ノ資金ハ、五千萬圓全額ヲ政府ニ於テ出資スルコトニ致シマシタ、此ノ點ハ生命保険中央會ニ於キマシテ、千五百萬圓ノ中千四百五十萬圓ガ政府出資デ、後五十萬圓ハ民間カラ出資スルト云フ點ガ達フノデアリマスガ、是ハ只今御質問ニ御答ヘ致シマシタヤウナ趣旨ニ依ツテ起ツタ差異ニデアリマス、次ハ第八條デアリマス、免稅が生命保険中央會ヨリモ、コチラノ方が範圍ガ廣クナツテ居ルノデアリマス、次ニ職員ノ所ハ殆ド全部同ジ趣旨ノ規定デゴザイマス、第三章、義務ノ點ハ、當然生命保険ト違フ所デゴザイマスガ、第十九條ニ付テ御説明ヲ申上ゲマス、損害保険ヲ普通保険ト戰爭保険及地震保険ノニツニ分ケテ御説明致スノガ便宜ト存ジマスルガ、先づ普通保険ニ付キマシテハ、一般ノ保険會社ハ、保険契約ヲ致シマスト、之ヲ東亞海上火災再保険會社ト云フニ再保ニ付スルノデアリマス、而シテ東亞海上火災保険會社ハ、ソレヲ更ニ保険會各保険會社が賄ヒ切レマスル限界ニ於テ再配分ヲ致シテ居ルノデアリマス、其ノ各保険會社ノ負擔ニ堪ヘラレナシテ、政府ニ再保ニ致シテ居ルノデアリマス、サウ云フ仕組ニ相成ツテ居リマス、又戰争保険ニ於キマシテハ、之ヲ海上保険ト陸上保険トニ「分ケルノデアリマスルガ、海上保険ニ於キマシテハ、」

各保険會社ハ其ノ戰爭保險ノ部分ヲ直接ニ國營再保險法ニ依リマシテ、政府ニ再保致シテ居リマス、陸上保險ニ付補償關係ニ立ツテ居ル譯デアリマス、是ハ再保險ノ關係デゴザイマセヌデ、國ガ戰時保險ヲ營ムト云フ形ニナツテ居リマスノデ、各會社ハ手數料ヲ取ツテ其ノ事務ヲ取扱ツテ居ルト云ノ形ニ相成ツテ居ルノデアリマス、斯クノ如ク、現狀ニ於キマシテハ甚ダ複雜ナ恰好ニナツテ居リマスルノデ、其ノ間手續ノ重複モゴザイマスルシ、甚ダスツキリ致サナイ所ガゴザイマスノデ、今同之ヲ一切經營致シマシテ、損害保險中央會ニ於キマシテ、普通保險ノ再保險ニ關スル取引モ全部引受ケル、而シテ戰爭保險ニ付キマシテモ、損害保險國營再保險法ト云フモノハ之ヲ廢止致シマシテ、損害保險中央會ノ再保ニ依テ問題ヲ處理シテ行ク、斯ウ云フ形ニシヨウト云フノガ今回ノ損害保險中央會ヲ設立セムトスル趣旨デゴザイマス、從ヒマシテ損害保險中央會ノ業務モ、此ノ關係ニ於キマシテ此處ニ規定ヲ致シテ居ルノデアリマス、即チ一ガノデアリマス、是ト東亞海上火災再保險株式會社ノ扱ツテ居リマス仕事竝ニ國營ノ損害保險ノ仕事ヲ此處デ扱フコトニナリマス、二ハ戰爭保險及地震保險ノ再保險ノ引受デゴザイマシテ、是ハ此ノ中央會自身が戰爭保險ノ再保險ノ引受ヲスル、即チ國營ノ部分ヲ此ノ中央會ガ營ム、斯ウ云フコトニ相成リマスルシ、海上保險ニ付キマシテハ

直接此ノ會社ガ扱フコトニ相成リマスル
ルシ、又陸上保險ニ付キマシテハ、現
在政府ガ保險ヲ營ンデ居リマスルノ
ヲ、各會社ガ謂ハバ代理店的ナ形ニ於
テ營ンデ居リマスモノヲ、斯ウ云フコ
トデナシニ、各會社ノ固有ノ業務トシ
テ行ハシメ、之ヲ此ノ損害保險中央會
ガ再保險ノ形ヂヤルト云フコトニ致シ
マシテ、海上モ陸上モ、兩方トモ再保
險關係ニ於ケル恰好ニ統一ヲ致シタ譯
デアリマス、三ハ損害保險ノ引受、是
ハ其ノ次ノ條文デ、前項第三號ノ業務
ノ範圍ハ命令ヲ以テ之ヲ定メルコトニ
ナツテ居リマスガ、命令ヲ以テ定メ
スル範圍ニ於キマシテ、一般ノ損害保
險ノ引受モスル、四ハ前各號ノ業務ニ
附帶スル業務デゴザイマス、業務ノ點
ニ付キマシテ御説明ヲ致シマスルノ
ハ、大體此ノ限度デアリマス、ソレ以
後ズット生命保險ト大體同ジャウナ規
定が此處ニ並ンデ居ルノデアリマスル
ガ、第二十四條ニ付キマシテハ生命保
險中央會ニ關スル法律トハ趣ヲ異ニシ
テ居リマスルノデ、此ノ點ニ付テ申上
ゲマス、即チ生命保險中央會ノ營ミマ
スル所ノ再保險ハ、民間ノ各保險會社
トノ間ニ更メテ中央會トノ間ニ再保險
契約ヲスルコトニナツテ居ルノデアリ
マスルガ、損害保險中央會ニ於キマシ
テハ、戰爭保險ト地震保險ノ關係ニ於
キマシテハ、當然ニ再保險關係ガ成立
スルト云フコトニ致シテ居ルノデアリ
マス、普通保險ニ付キマシテハ、其ノ次
ノ第二十五條ニ於キマシテ生命保險ノ
場合ト同趣旨ノ規定ニナツテ居リマ
ス、以後「經理」「監督」ノ點ハ大體同ジ
デゴザイマスルガ、「經理」ノ所デ一
點、第二十九條デゴザイマスルガ「損
害保險中央會餘ヲ得タルトキハ其ノ

○委員長(男爵東郷安君)　此ノ法案ニ
付キマシテ御質問ヲ願ヒマス
○子爵水野勝邦君　損害保険ノ中央會
ヲ設ケルト云フ趣旨ト、生命保険ノ中
央會ヲ設ケルト云フ趣旨トニハ、其處
ニ非常ニ相違ガアルト思ヒマス、先程
御説明ヲ伺ツテ大體分ツタノデアリマ
スガ、元來損害保険中央會ノ關係ニ付
キマシテハ、既ニ戰時特殊損害保険法
ガアリ、海上再保險ノ方法モアリマシ
テ、是等ニ依ツテ政府が損失ヲ補償シ
テ居ルヤウデアリマスガ、之ヲ今日故
ラニ中央會ヲ設ケテ、ソレニ再保險サ
セルト云フ必要が何處ニアーベルンダ
ウカ、ドウ云フ理由カ、ソレヲ伺ヒタ
イト思ヒマス、先程局長ノ御話デハ、
スツキリ致サナイト仰シャイマシタ
ガ、是ハドウ云フ意味デゴザイマスカ
○政府委員(迫水久常君)　生命保険中
央會ヲ設立致シマスル趣旨ハ、生命保険ニ
於ケル戦争危険ノ再保險機構ヲ新シタ作
成ノ云フ趣旨ガ出發點ニナリマシテ、
生命保険中央會ノ設立ト云フ形ニナツ
テ、是ガ出テ居ルノデアリマスルガ、其
設が出來テ居ルノデアリマスルガ、其
損害保険中央會ノ方ハ、只今水野子爵
モ仰シャイマシタ通り、既ニ其ノ再保
險機構其ノ他ノ問題ニ付テハ十分ナニ施
設が出來テ居ルノデアリマスルガ、其
剩餘金ヲ政府ニ納付スベシ、政府ハ損
害保険中央會ニ對シ其ノ業務ニ因リテ
受ケタル損失ヲ補償ス「斯ウ云フ規定
ガゴザイマシテ、即チ全額ガ政府出資
デアリマスル關係上、當然其ノ損益ハ
政府ニ歸屬スルト云フコトニナツテ規
ル次第アリマス、以上大體御説明ヲ
致シタ次第ゴザイマスルガ、此ノ中
央會ノ成立ニ付キマシテハ、生命保
険中央會ノ場合ト全く同様ゴザイマ

ノ施設ハ先程御説明ヲ致シマシタ
リ、或ハ政府ノ直營デアリ、或ハ再保
险關係デアリ、其ノ再保險關係モ一
民間ノ再保險機構ヲ通シテ其ノ經過
分ダケが政府ニ來ルト云フヤウナ恰好
ニナツテ居リマシテ、其ノ間非常ニ複
雜ナノデアリマス、ノミナラズ國營モ一
保險ト云フ恰好ニナツテ居リマスル郵
分ガアリマス關係上、政府自身が扱
マスル書類ガ甚グ多イノデアリマシ
テ、私共ノ方ノ局ノ戰時保險課ト云モ
所ハ、實ハ保險會社ノヤウナ仕事モ歴
シテ居ルノデアリマス、書類ノ數ナド
非常ニ龐大デアルノデアリマス、是等
ノコトハモット簡素ナ一元的ナ機構ニ
依ツテ、又各種ノ保險ニ付キマシテ同
ジヤウナ形式ニ依ツテ之ヲ運營致シマ
ス方ガ、遙カニ能率的デアリ、民間デ
モ便宜ダシ、役所ノ方モ手數ガ省ケル
斯ウ云フコトニナルノデアリマシテ、
是等ノ仕組ヲ整備シヨウト云フノが損
害保險中央會ヲ整理シヨウト云フ考カ
ラ出發致シマシテ、結論ガ損害保險中
央會設立ト云フ所ニ來タノデアリマ
シテ居リマスガ、毎日其ノ事務ニ携ツ
テ居リマスト云フト、實ニ複雜デアリ
マシテ、スツキリト云フ誠ニ結構デアルト
持ガ自分自身ニハハツキリ分ツテ居リ
ノデアリマスガ、サウ云フ次第デゴザ
イマス

法が出来テ間モナク、ア、云フ想像モシテ居ナカツタ大キナ地震ガ二回モアリマシテ、之ニ依ツテ可ナリノ金ガ支拂ハレテ行ク譯デアリマスルガ、ソレカラ海上危險ニ關シマシテモ、廣大ナ海面ニ色々ナ事故ガ是亦非常ニ多イト思ヒマス、サウ云フ保險金ノ問題ハ現状ハドンナ風ニナツテ居リマスカラ
○委員長(男爵東郷安君) 水野子爵ノ御質問ニ對シテ、政府ノ説明員カラ説明ヲ致スコトニ御了承ラ願ヒマス
○説明員(村岡信勝君) 御命令ニ依リマシテ便宜私カラ數字的ナ御説明ヲ申上ゲマス、話ノ内容ガ少シク
○委員長(男爵東郷安君) 速記中止
〔速記中止〕

○ 政府委員(迫水久常君) 先づ最初に
戦争保険、陸上ノ特殊保険、ソレカラ
地震保険ト云フヤウナモノノ支拂ヒ
ガ、支拂ヒガ餘り順調ニ行ツテナイト
ニ開キガアル譯デゴザイマス、斯ウ云
フ問題ハドウ云フヤウニ措置サレマス
カ
力
字ニナリマス、サウシテ保険料ヲ支
拂フコトニナル、其ノ品物ヲ日本デ以
テ査定サレルト、誠ニ不自然ナ程値段
無事ニ著カナカソタ場合ニ保険料ヲ支
拂フコトニナル、其ノ品物ヲ内地ニ持ツ
テ來ル、其ノ場合ニ、不幸ニシテ是ガ
無事ニ著カナカソタ場合ニ保険料ヲ支
拂フコトニナル、其ノ品物ヲ日本デ以
テ査定サレルト、誠ニ不自然ナ程値段
ニ開キガアル譯デゴザイマス、斯ウ云
フ問題ハドウ云フヤウニ措置サレマス
カ
力

明致シマシタ通り、各地ソレド、出来ルダケ簡易ナ方法ニ依ツテ調査ヲ進メテ居リマス、尤モ其ノ調査モ最初ハテ良ササウニ思ツテ「スタート」シテ見マスト、案外其ノ仕組デハ手間ガ取ルト云フノデ、更ニソレラ其ノヤリ方ヲ簡素ニスルト云フ徑路ヲ踏ミシタケレドモ、最近ハ極メテ簡素ナ形デ迅速ニ出来テ居リマスルノデ、分損デアツテ處理ノ非常ニ困難ナ地震保険モ順調ニ行クト思ツテ居リマス、唯保険金ヲ受取ル方が、地震デモアリ、若シクハ爆彈デモ見舞ハレタ時ハ、向フカラ御見舞金ヲ持ツテ來テ吳レルヤウニ、保險會社カラ、コチラカラ請求シナイデト言ハレルノデアリマスガ、書類ヲ出モ金ヲ拂ツテ貰ヘルノダト云フヤウニ誤解シテ居ル方が相當アルノデアリマス、サウ云フ方々ニ、如何ニモ遲イヽト言ハレルノデアリマスガ、書類ヲ出サレナナイデ、遲イヽト言ツテ居ラレル方が實ハ澤山アルノデアリマス、此ノ點チヨツト御斷リシタイト思ヒマス、ソレカラ御質問ノ支那カラ日本ニ對スル海上保険ニ付テノ點ノ御質問ガゴザイマシタケレドモ、實ハ御質問ノ要點ヲ私、ドウモウマク捕捉シ得ナカツタノデゴザイマシテ、甚ダ申譯ゴダイマセヌガ、モウ一應御質問ヒタイト恩ヒマス

イ、金ヲ持ツテ行キタ伊ト云フヤウナコトデ、非常ニ澤山掛ケルト云フヤウナ人モアリマスシ、ソレカラ物價ガ高イノデ其ノ埋合セラシヨウト云フヤウナコトモアリマス、誠ニ不自然ニ思ハレルノデス、サウ云フ問題が起リマヌエスカ

○政府委員(迫水久常君) 甚ダ私、御質問ノ要點ヲ擱ミ切レナイデ恐縮ナデアリマスガ、支那カラ日本へ品物ヲ運ンデ參リマスル場合ノ海上保険ハ、現地ノ通貨建デ契約ラシテ、從ツテ現地ノ通貨建デ價格ノ査定モ致ス譯ニアリマス、現地デ査定ヲ致シテ居ルノアリマス、御質問ノヤウニ日本内地デ査定ヲスルト云フコトハナイト思ヒマス、或ハ御質問ノ要點ガ、現地ガ餘りリマス、ニモ馬鹿化テ高イ、物價ノ關係デ高クナツテ、ソレヲ日本ガ保険シテ居ル、ソレヲ戰爭保險トシテ國ガ拂フト云フコトガ馬鹿ラシイヂヤナカ、其ノ場合ニ換算率ガ十八圓デ勘定スルト云フヨトハ馬鹿ラシイヂヤナカト云フヤウナ御質問デアルトシマスルト、是ハ日ノ支間ノ目下ノ物價ノ根本問題ト關聯スルノデアリマシテ、私がジニ御答撃ラ致シマスル限界ヲ稍ミ逸脱シテ來ルノデヤナイカト考ヘル次第アリマス

○松本義治君 私、今チヨット中座シテ、此ノ法案ニ付キマシテモ、色々な疑問モゴザイマスガ、少サイコトハ申ス事が既ニ御質問ガアツナノデアツタナラバ、チヨット御注意ヲ願ヒマシテ止マス、此ノ法案ニ付キマシテモ、色々な

ゴザイマス、即チ主務大臣ハ保険會計官ニ對シテ、其ノ引受ケタル普通保險ヲヨウニ付スコトハ、第二十五條ノ適用ノコトデナコトモアリマス、誠ニ不自然ニ思ハレルノデス、サウ云フ問題が起リマヌエスカ

トヲ命ズルコトヲ得ルノダト云ア規定ノ適用ノ問題デアリマス、私能ク實際ノコトヲ承知シテハ居リマセヌガ、今當業者ガ集シテ、何トカ云フ再保險會社が出來テ居ル、其ノ再保險會社ニ、確力各社デ取ツタ元受保險ノ一萬圓ヲ超エルモノハ、全部再保險ニ出スト云フコトデヤツテ居ラレルカノ如キコトヲ聞イテ居リマタ、間違ガアレバ正シモ聞イテ居リマス、是ハ或ハ間違ツテ戴キタイ、而シテ其ノ事ハ、是ハ要スルニ、政府カラノ御勅メニ依ツテサウ云フヤウナコトニナツテ居ルヤウニモ聞イテ居リマス、此ノ第二十五條ハサ居ルカモ知レヌガ、此ノ第二十五條ハサウ云フヤウナコトヲ、政府ガ言フコトヲ諸カヌ者ガアレバ命ズルコトヲ得ルト云フコトノ御趣意カト思フ、此ノ適用ハ、私ノ考デハ其ノ當該保險會社ノヤリ方ガ危險ダ、ドウモ再保險ニモウ少シ出サナケレバイカヌモノヲ再保險ニ出サナイデ、自分で皆呑ンデ居ルト云フコトデハ危險ダト云フ場合ニ、是デ御命ジニナルノハ宜イクレドモ、一律ニ、是以上ハ必ズ再保險ニ皆出セト云フコトニナサルノハ、非常ニ困ツタコトニナル虞ガアル、サウ云フヤウナ運用ハ、ドウカナサラヌヤウニシテ戴ク方ガ宜イノデハナカラウカト考ヘテ居ル、其ノ理由ヲ述ベタイノデアリマス、假ニ今ノ一萬圓以下ノ契約ハ手持ニシテ宣シイガ、一萬圓ヲ超エル所ノ契約ハ、總テ元受保險會社ガ、ドンナ大キイモノデアツテモ、ドンナル程、損害保險會社デアラウト思ヒマスガ、一萬圓ヲ超エル保險ニ付キマシサナケレバイカヌト云フヤウナコトニテハ、モウ保險會社デハナクナルノデ

ニナリマスルノハ、是ハ損害保険會社
ノ獨立性ヲ害シ、其ノ事業ノ經營ト云
アモノノ機能ヲ説明サセテシマフコト
ニ私ハナルト思フ、サウ云フコトニナ
サツテハ困ルト云フコトヲ申上ゲテ居
ルノデ、私ハナサルカナサラヌカト云
フヤウナ御質問ヲ致シマセヌ、サウ云
フコトヲ茲デシツカリ御言ヒニナルト、
後デ又因ルダラウト思ヒマスカラ、唯
私ノ考ガ間違ツテ居ルカドウカト云フ
コトニ付テノ、政府ノ御意見ヲ伺ヒタ
イダケナノンデス、一萬圓ト云フヤウナ
言葉ハ、是ハ假ニ申シテ居ルモノト御
承知ヲ願ヒタイ、詰リ一萬圓ヲ超エル
契約ト云フモノニ付テ、サウ云フニ
トニ假ニスルトスレバ、損害保険會社
ト云フモノハ、モウ獨立性ハ何モナイ
全ク一ツノ代理店ト同ジヤウナ通り抜
ヲスルダケノコトニナル、ソレデヘ、
私ハ損害保険會社ト云フモノヲ寧敬シ
テ、其ノ事業ト云フモノヲ認メテ居ル
マシテ、殊ニ家庭ナドノ値段ガ高クナ
リマスト、一萬圓ト云フコトハ、從來
ヒタイ、此ノ頃ノヤウニ物ガ高クナリ
所以デハナイト思フ、而シテ一萬圓、
一萬圓ト云フコトヲ頻リニ申シマス
ガ、是ハ餘リ拘泥シナイデ御聽キラ、願
ナラ相當大キナモノニアツカモ知レ
マセヌガ、段々サウデナクナツテ参リ
マスクトモ、御認メニナラナケレバナ
リマスト、一萬圓ト云フコトハ、從來
ナラ相當大キナモノニアツカモ知レ
ウ云フヤリ方御命ジニナルト云フコ
トニナルト、損害保険會社ト云フモノ
ヲ殺スヤウナモノアルト云フコト、
第二ニハ損害保険會社ヲ御殺シニナツ
テモ、ソンナコトハ、私ハ一向差支ナ
イ、サウ重キヲ實ハ置キマセヌ、併シ

ナケレバナラヌコトが起ルト思フ、ソレハ何カト云フト、其ノ結果ハ超過保険ガ、私ハ起ルコトハ必然ダト思フ、詰リ再保險ニ出ス契約ニ付テハ、會社ハ危險ハーツモナイノデス、再保險會社ガ皆背負ツテ吳レルノデスカラ、例ヘバ元受デ百圓保險料ヲ取ツタ、其ノ中カラ手數料的ニ幾ラカ留保シテ、再保險料ハ幾ラニナルカソレハ存ジマセヌガ、要スルニ手間賃ハ拂ツテ貰ハナケレバナリマセヌカラ、例ヘバ百圓ノ保險料ヲ收入シテ參レバ、假ニ九十何圓ト云フ今度ハ再保險料ヲ拂ハナケレバナラヌ、其ノ差額ト云フモノハ、丁度自分ノ代理店ガ貰フ手數料ミタヤウナモノニナツテシマフ、ソコデ一萬圓ヲ超エルヤウナ契約ニ付テハ、全部再保險ニ出スノデスカラ、危險ハ何モナイノデス、ダカラ成ルベク澤山ニ契約シタ方ガ、其ノ差額デ貰フモノが殖エル、儲カル、從ツテ契約者ノ方デ一萬圓カ一萬二千圓位ニシテ置キマセウカト言フノニー、イヤ二萬圓デモ三萬圓デモ、是ハ值打ガアリマスヨ、又見方ニ依ツテハ、此ノ頃ハ實際アルノデス、サウ云フコトニシテ、保險料ヲ澤山取併シナガラ、保險ヲ取ツテ歩クノハ、保險會社ノ重役自分が歩ク譯モナインデアリマシテ、詰リ募集員ト申スカイ事ハ保險會社トシテハシマスマイ、併シナガラ、保險ヲ取ツテ歩クノハ、歩クノデアラウト思ヒマス、其ノ人達ハ、詰リ其ノ差額が多クナレバソレダネ、矢張リ自分ノ所ニ幾ラカノ歩合ガケ、矢張リ自分ノ申スカ、サウ云フ者ガ取ツテ

カラ、大體自分ノ危険デ契約ヲ取ルノダ
大變デス、中ニハサウ云フ外交眞ナド
モ居マス、成ルベク高クシテ、保険
料ヲ澤山取ツテ來テ、歩合ヲ澤山貰
ハウト、云フ人モ居マスケレドモ、併
シナガラソレハ大變カラ、非常ニ
嚴重ナ監督デ、サウ云フコトニナラヌ
ヤウニ保険會社ハヤツア居リマス、併
シ全部通リ抜勘定デ、ズウツト行ツテ
シマフト云フコトニナレバ、取ツテ來
ル保険料ノ多イ方ガ會社トシテモ宣イ
ノダカラ、サウ云フエライ監督ヲシナ
クナルト私ハ思フ、今、既ニ私ハサウナ
ツテハ居ナイカト云フコトヲ憂ヘテ居
リマス、今ノ再保險會社ハ業者ガ本當
ニ集ツテ拂ヘタ再保險會社デスカラ、
良心ノアル業者ハ相當再保險會社ノコ
トモ考へナクチヤナラヌカラ、サウ云
フ弊害ガ出來ナイヤウニ、相當ノ注意
ヲ拂ツテ居ルダラウト思ヒマス、併シ
中央會ト云フ、マア政府ノ御出張店ミ
タヤウナモノヲ設クマシテ、其處へ皆
行ツテシマフト云フヤウナコトニナル
ト、私ハ必ずシモ保険會社トシテ、超過
保険ハイカヌヨ、サウ云フコトニナ
ツテハイカスト云フヤウナ監督ヲ今迄
通りニスルカドウカラ疑フ、サウナツ
テ來マスト超過保険ガ相當行ハレルダ
ラウト思ヒマス、成ルベク勞少クシテ
功多キコトヲ保険會社ノ從業者ハ望ム
ノデスカラ、成ルベク大口ニシテ保険
料ヲ澤山貰ハウト云フコトニ私ハナル
ト思フ、現ニ私ハ此ノ頃既ニサウ云フ
云フコトハナカツタコトガ、此ノ頃其
ノヤウニナツテ來テ居ルカノ如キコト

ウコトヲ時々聞クノデス、ソレハマダ斯
ウ云フモノガ出来ナイ今ノ状態デモ、一
萬圓ヲ超エルモノハ皆再保ニ付スベシ
ト、政府力統制會力存シマセヌガ、仰シ
ヤツテ、サウ云フコトニ事實ナツテ居
ルラシク聞イテ居ル、其ノ結果、サウ
云フコトが既ニ段々行ハレテ來ツ、ア
ルヤウニ思フ、是ガドンヽト行ハレ
テ來タラ、是程危險ナコトハナイト私
ハ恩フ、即チ超過保険ヲ保険會社ノ方
ガ看過スルト云フコトニナレバ、相當所
謂「モーラル・リスク」ガ殖エマシテ、高ク
一萬五千圓位ノ家ヲ三萬圓トカ五萬圓
トカニ付ケテ置キマシテ、サウシテ都
ウ云フコトガ裁判ノ所ニモ現レ居ル
合ノ好イヤウニ、焼タルヤウニ火ヲ放
ケル、是ハ今迄不景氣ニナツテ來タ時
ニ、屢々實際ニモアツタコトデス、サ
ウ云フコトガ裁判ノ所ニモ現レ居ル時
モノガ澤山アリマス、放火ト云フヤウ
ナ刑事ノ裁判ニモナツテ居ルシ、或ハ
場合ニ依ルト民事ノコトニモナツテ居
ル、是ハ非常ニ澤山アル、放ケル時ハ
自分ノ家ニ直接放ケルコトモアルヤウ
デスガ、是ハナカヽ発見サレル虞ガ
アルモノダカラ、丁度風上ノヤウナ所
ノ人ノ家デ、ソレコソ迷惑極マルガ、
其處ニウマク放ケテ類焼シタヤウナコ
トデ、一萬五千圓ノ家カラ五萬圓位ノ
保険料ヲ貰フト云フヤウナコトデ、今
迄モ屢々アツタコトデアリマス、不景
氣ニナツテ來ルトサウ云フコトハ行ハ
レルコトデス、若シ或金額以上ノ物、
ソレヲ餘り大キナ金額ニ致シマセヌ
デ、例へば一萬圓ヲ超エル物ハ皆再保
ニ出スベシト云フヤウナコトモ、是カ
ラナサツヘ行クト、サウ云フ超過保険
ノ危険ガ澤山出テ來ルダラウト思フ、

ノ因ヲ持ヘテヤルト云フコトニナリマ
スノミナラズ、類焼ヤ何カデ燒クタ人
間ハソレヨソタマツタモノデハナイ、
サウ云フ超過保険ノ火災保険ニ付テノ
危険ト云フモノハ實ニ恐ルベキモノガ
アル、殊ニ日本ノ家ノヤウニ木造家屋
ガ櫛比シテ居ル場合ニ於キマシテハ、
チヨツトシタ物が大火事ニナルノデス
カラ、國家經濟カラ申シテモ、實ニ恐
ルベキコトニナル、私ハ火災保険ニ付
テハ超過保険ヲ持ヘサセナイヤウニ監
督シテ參ルト云フコトガ非常ニ重要ナ
コトト考ヘテ居リマス、之ヲ餘り再保
險ニ何デモサセルト云フコトニナル
ト、其ノコトトハ正反対トナリマスカラ
ラ、私ハ其ノ點ハ十分ニ御考ヘニナツ
テ運用ナサツタラドウカト思フ、ソレ
ハ第二ノ理由カ、或ハ一番主ナ理由デア
リマスガ、更ニ考ヘテ見ルト、火災保
險ノ善及ナドニモ害ガアルト思フ、詰
リツノモノヲ捉ヘテ澤山ノ保険料ヲ
取ツタ方ガ割前ガ殲エルノデスカラ、
今ハ相當ノ競争フシテ山ノ奥迄行ツテ、
火災保険ヲ扱ツテ來ルト云フコトデ
保険ガ普及シテ居ルノデス、成ルベク
易キニ就イテ、高イ保険金額ニシテ取
レバ、ソレノ方が樂デ多ク分ク前ヲ貰
ヒ得ルト云フコトニナルノデスカラ、
自然非常ニ費用ガ掛ルトカ、面倒ナ所
迄ヤツテ行クト云フコトガ、ドウモ矢
張リ減ルヤウナコトニナリハセヌカ、
ソレ以外ノコトハ大シタコトデハアリ
マセヌガ、是モ面白クナイコトト恩
フ、要スルニ取扱ツテ居リマス元受保
險ヲ、何デモ構ハズニ皆ソコノ再保ニ
出サセルト云フヤウナヤリ方ハ、如何
ナル見地カラ見テモ宜シクナイ、之ヲ

出サスノハ、或特定ノ保険會社ガドウ
モ取ツテシマツテ出サズニ居テハ危ナ
的ダト思ヒマス、併シ或ハサウ云フ理
想的ノ運用ハ、相當是ハ面倒ニナリマ
スカラ、私ノ考ヘルヤウニモ行カヌカ
モ知レマセヌガ、少クトモ一萬圓以上
ハ皆再保ニ出サスト云フヤウナコトハ
御改メニナルゴトニナサル方ガ宜イ、
サウデナイト、國家全體ノ利益カラ申
シテ、火事が今コソ餘り起リマスマイ
ガ、少シ不景氣ニモナツタ云フヤ
ウナ時ニ、超過保険ノ害ガズツ出テ
來テ非常ナコトが起ルト云フコトヲ考
ヘテ置カナケレバナルマイカト思フノ
デス、之ニ對シテ私ハ政府ハドウ云フ
御考カト、云フコトヲ伺ヒタノデ、
一萬圓トカ何トカ云フコトヲドウナサ
ルカト云フコトヲ伺ツテハ居リマセ
ヌ、又サウ云フ御答ニナツテ來ルト、
後ノ運用ニ又差シ響キガアルノヂヤナ
カラウカト思ヒマス、私ガ申シタコト
ガ間違ツテ居ルカ、サウ云フ風ナコト
ガ大丈夫ナンドト云フ御考デアルカド
ウカト云フヤウナ意味ニ於テ御答ノア
ルコトヲ希望致シマス

テ、再保險關係ヲ成立セシメルコトニ
致シテ置キマス場合ニハ、此ノ中央會
ガ危險ノ多イ再保險バカリ受ケルヤウ
ナ恰好ニモ相成リマシテ、所謂再保險
ニ於ケル危險ノ分散ト云フコトが出來
ナクナリマシテ、唯單純ニ保險會社ヲ
儲ヶサセル爲ノ機關ニナツテシマフト
云フコトモ考ヘラレルノデ、此ノ點方
ラ考ヘマシテモ、必要ニ應ジテ強制ヲ
シナケンバナラスト恩ツテ居ルノデア
リマス、併シナガラ其ノ半面ニ於キマ
シテ、只今松本先生ノ言ハレマシタヤ
ウニ、所謂「モーラル・リスク」ノ問題
ハ大イニアルノデアリマシテ、此ノ點カ
ニ付キマシテハ、此ノ普通保険ヲ損害
保険中央會が再保ニ受ケマシテ、今
ヲ、更ニ各民間會社ニ再配分ヲ致シマ
スノデアリマシテ、其ノ點ニ關シマス
ル具體的ナ運營トモ見合ヒマシテ、今
一萬圓デ政府が勧メテ居ルト云フ御話
ガゴザイマシタケレドモ、必ズシモ政府
ガ勸メタ結果サウ云フ風ニナツテ居ル
譯デモゴザイマセヌノデアリマスガ、
現行ノ制度ヲ能ク見マシテ、損害保険
中央會ノ理事者トモ相談ヲ致シマシ
テ、理想的ニ申シマスレバ、四方八方
ウマク行クヤウニ具體的ナ處置ヲ考ヘ
テ見ダイト思ツテ居リマス

險ヲ包藏シテ居ルモノダト云フコトヲ御認識ニナツタコトと思ヒマスノデ、今ノ御答辯ハ、私ノ申シタコトハ全面的ニ誤リデアルト云フコトノ御答辯デハナカヅタ、寧ロサウ云フ趣意デアラウト云フコトノ趣意ノ御答辯デアツタト考へマシテ、之デ質問ヲ止メヨウト思ヒマス、若シソレガ間違ツテ居ルナラ、更ニ伺ヒタ

○委員長(男爵東郷安君) 損害保険中央會ノ性格ニ付テ御尋ネシタイト思ヒマス、一體此ノ中央會ト云フモノハ、戰時中ノ存續ダケデアリマスルカ、ソレトモ恒久的ノ意圖ガアルノデスカ、其ノ點ニ付テ

○政府委員(迫水久常君) 此ノ法律ハ別ニ大東亜戰爭争中ト云フ風ナコトニハ限ツテ居リマセヌ、從ヒマシテ少クトモ差當リノ情勢ニ於テ國ガ國營保險、再保險ヲ營マケレバナラナイヤウナ事態ガ續ク限リニ於キマシテハ、斯ウ云フ制度ハ存續スルモノト考ヘテ居リマス

○委員長(男爵東郷安君) 次ニ統制會トノ關係デスガ、此ノ中央會ハ統制會ノ傘下ニ入ルモノデアリマスカ、或ハ又別個ノ存在デアリマスルカ、若シ龜下ニ入ルモノデアルトスレバ、普通保險會社ト同シ列ニナル譯デアリマスカ、若シサウスルト云フト料金ノ決メ方等ニ付テハ統制會トドウ云フ交渉ニナルノデアリマスカ

○政府委員(迫水久常君) 損害保険中央會ト損害保険統制會トノ關係ハ、昨日生命保險中央會ノ時ニ、確カ水野子爵ダト思ヒマスガ、御質問ニ相成リマシテ、私御答へ申上ダト同ジ關係ニナルノデアリマスガ、其ノ間然ルベタ調整ヲ圖ツテ行キタイト思ツテ居ルノ

○子爵松平親義君　實ハ此ノ保險中央會ニ直接關係シテ居ラナイカモ知レマセヌガ、此ノ際私、チヨツト關聯シテ伺ツテ置キタイト思フノデアリマス、ソレハ此ノ空爆下ニ於キマシテ、國民生活ノ安定ヲ圖ルト云フ考ヘ方カラ、保險制度ト云フコトハ勿論結構デアリマスガ、今日東京都アタリノ空爆ノ結果、災害ノ結果ヲ見マシテモ、實際災害者ノ災害狀況ニ於キマシテ、最近ハ何ト申シマシテモ物が非常ニ大切デゴザイマシテ、マア炊事道具トカ或ハ衣類トカ、サウ云ツタ物、保險其ノモノモ大切デアリマスガ、サウ云フ物ノ方面モ非常ニ大切デアルト云フコトハ申ス迄モナイト思フノデアリマス、ソレデ實ハ私營テ大藏省ノ方カラ伺ツタト思ヒマスガ、何カ此ノ際斯ウ云フ罹災者ニ對シマシテハ、保險ノ面カラノミニラズ、サウ云フ物資ノ面カラモ、サウ云フ人ニ對シテ敷濟ノ手ヲ差伸ベルト云フコトハ、國家的ニ今非常ニ必要ナコトデヤナイカト私ハ思フノデアリマス、勿論災害扶助法ノヤウナモノガアリマシテ、是デモ賄ヘルコト思ヒマスガ、更ニ一段トサウ云フ風ナ物ノ面カラ國民生活ノ安定ヲ圖ル必要が非

常ニアルト思ヒマス、ソレデ最近何カ財團法人デ戰時罹災者救助義會ト云ツタヤウナモノが出來ルトカ云フヤウナ關係デ御承知ノ範圍デ結構ナノデアリマスガ、之ノ基金ガ幾ラ位ニナリマスカ、或ハ又はガドウ云フヤウナ活動ヲスルモノデゴザイマスカ、御分リノ範圍デ結構デアリマスカラ伺ヒタイン政府委員(迫水久常君)　只今松平子爵ノ御質問ニナリマシタ點、詰リ戰時災害ニ對スル救濟ノ方法ガ、金ノ面ダケデハ足リナインヂヤナイカト仰シヤイマスコトハ、事實保險ヲ當面扱ツテ居リマスル私共ガ寧ロ一番能ク感じジテ居ル所ダト思フノデゴザイマス、誠ニ御說ノ通りダト思フノデアリマスガ、ソレニ付テハ私ヨリ御答辯フスル立場ニハナイノデアリマシテ、政府ノ他ノ部局、他ノ省ニ於テ、モット深刻ニ考ヘテ居ル問題ダト私ハ存ジテ居リマス、尙只今仰シヤイマシタ新ラシイ財團法人ニ付テハ、私ハ唯噂話のニ聞イテ居ルノデゴザイマス、財界カラモ相當大キナ寄附金ヲ集メテ、確力基本金三千萬圓デアリマシタカ、其ノ位ナ基本金ヲ集メタ一種ノ援護會が出來ルト云フ話ハ聞イテ居リマスルガ、ソレガドウ云フ風ニナルカ、只今此處ニ居リマス大藏省關係ノ政府委員ハ詳シイコトヲ知ツテ居ル者がナイヤウデアリマスシテ簡単ニ伺ヒタインヂアリマスガ、
○子爵松平親義君　只今ノ御話ハ其ノ程度デ結構デゴザイマス、尙チヨツト損害保險中央會ノ業務ノコトニ付キマス
第十九條ノ第二項、戰爭保險及地震保険ノ再保險ノ引受、此ノ點ナノデゴザイマスガ、是ハドウ云フ風ニ考ヘタラ宜

イモノノデセウカ、戦争保険及地震保険ト云フノハ戦時特殊災害保険法ニ依ツテ既ニ保険ヲ成立セシムルコトが出来マスシ、サウシテ尙其ノ特殊損害保険法ノ中ニ、此ノ保険ノ結果損失ガアツタ場合ニハ、其ノ會社一對シテ國家ガ損失補償ヲスルコトが出来ルコトニナツテ居ルト思フノデアリマス、サウシマスト、其ノ法律自體ニ於テ、既ニ再保險ト申シマスカ、國家ガ一ツノ戦争保険ニ對スル補償ヲシテ居ルノデアリマスカラ、ソレデ中央會ニ此ノ地震保険ナリ戦争保険ナリノ再保險ヲ掛ケル、此ノ中央會ニ再保險ヲ持ツテ來ルト云デーツノ運用が出來テ行クノヂヤナイヤ、之ニ持ツテ來テ再保險ヲ掛ケル、來ナイデモ、此ノ特殊損害保険法自體ニ對シテ利益ハ政府ニ納メル、損ハ政府ニ持ツテ居ルノデアリマス、ソレヲ今回改メマシテ、各保険會社ハソレヲ再保ノ形デ損害保険中央會ニ持チ込ミマシテ、損害保険中央會ト云フモノ「通常シテ、政府トノ結果ノ附ヶ方ハ、損害保険法中左ノ通改正ス」ト云フ其ノ一枚メクリマンタ二十頁ノ「第十八條第一項ヲ左ノ如ク改ム」ト、此ノ規定ニス、是ハ第五十六條ノ「戦時特殊損害保険法中左ノ通改正ス」ト云フ其ノ一ウ云フ考ヘ方ニ改ヌタ譯デゴザイマス、依リマシテ、サウ云フ風ニ法制フ今度

變へタ譯デアリマス

○子爵松平親義君 分りマシタ、モウ
一點何ヒタインデアリマスガ、所謂世
間デ申シマスノ空爆保險ト云フモノ
デアリマスガ、是ハ從來普通ノ損害保
險ノ物件ト云フノデスカ、家屋ナラ家
屋ヲ損害保險ニカケタ場合ニ、ソレニ
當然此ノ空爆保險ハ何ト言ヒマスカ、
自動的ニ附帶ヲシテ行クト云フ形、而
モソレガ特ニ空襲ノ危險が非常ニ大デ
アル認メルヤウナ地域ニ於テ、其ノ
附帶ヲ認メル、斯ウナツテ居ツタノデ
アリマスガ、之ガ最近ドウ云フ風ニナ
ツテ居リマセウカ、近頃デハナカヽ
此ノ六大都市ニ限ラズ、田舎ノ一軒家
デモ轟彈ガ落チルヤウナコトモアルノ
シムル場合ノ標準ニナラナイヤウニモ
デアリマスガ、寧ロサウ云フ風ナ空襲
私思フノデアリマス、イツソノコト日
ノ危險が非常ニ大デアルカ少イカト云
ツタヤウナコトハ、餘り保險ヲ附帶セ
シムル場合ノ標準ニナラナイヤウニモ
デアリマスガ、寧ロサウ云フ風ナ空襲
本帝國全土ノ損害保險ニハ當然此ノ空
襲保險モ附帶セシムル方ガ宜イノデヤ
ナイカト思ヒマス、其ノ點ハドウ云フ
風ニナツテ居リマスカ

○政府委員(迫水久常君) 戰爭保險が
普普通ノ火災保險ト強制的ニ隨伴セシメ
ラレルモノハ、地域のニ今ナツテ居リ
マスクトハ從來ノ通リデアリマスガ、
昨今ノ情勢ニ應ジマシテ、其ノ地域ヲ
改正スルコトヲ考ヘテ居リマス、更ニ
進ミマシテ全面的ニ戰爭保險ヲ強制ス
ルカト云フ問題ハ、實ハ常ニ研究問題
トシテ話題ニ上ル所デアリマシテ、サ
ウ云フ事態ガ來ルノデアルカモ知レナ
イト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、差當リ
ノ所ハ其處迄行ツテ居リマセヌ
○委員長(男爵東郷安君) チヨツト伺
ヒマスガ、其ノ場合ニ於テ法律ノ改正

ヲ要スルノヂヤナイヂセウカ

○政府委員(迫水久常君) 此ノ強制ス
ル地域ヲ決メマスルニハ、法律ヲ要シ
ナイノデ、地域ヲ擴大スレバ宣ノダ
ト思ヒマス、唯火災保険ト隨伴セズ
ニ、戦争保険ダケラ全般的ニ強制スル
ト云フコトモ實ニ考ヘテレルノデアリ
マスガ、サウナリマスレバ法律ノ改正
が必要アリマス。

○男爵宮原旭君 外地ニ於キマシテ敵
襲ナドニ損害ヲ受ケマシタ時ニハ、其
ノ損害ノ調査ヤナンカハ非常ニムヅカ
シイト思ヒマスガ、サウ云フ時ノ保
險金ノ支拂時期ハドウ云フ風ニシタラ
宜ウゴザイマスカ、ソレカラ結局ソ
レガ長引キマスト、損害金ノ「レート」
ナンカモチヨツト下がツテ來ルンデ
ヤナイカト思ヒマスガ、其ノ點ハドウ
云フ風ニ考ヘタラ宜ノデアリマスカ

○政府委員(吉村成一君) 外地ニ於キ
マシテ、我國ノ保険會社ガ保険ヲ取ツ
テ居リマス、又或程度ニ於テハ戰爭保
險モ取ツテ居リマス、其ノ場合ニ於キ
マスル損害ノ査定等モ大體ニ於キマシ
テ内地ニ於ケルト同ジャウナ方法ニ依
ツテ査定ヲ致シテ居ルノデゴザイマシ
テ、御承知ノ通り、外地ニ出テ居リマ
ス日本ノ保険會社モ色々ニ事情カラ致
シマシテ、人員等ニ相當手薄ラ來シテ
居ルノデゴザイマスクレドモ、出來得
ル限り其ノ間、査定ニハ敏速ニセシム
ルヤウニ、常ニコチラニ於テモ注意ヲ
怠ラナイノデゴザイマス。

○男爵宮原旭君 外地ト申シマスト、
今チヨツト私ノ考ヘテ居リマス例ヲ申
セバ、最近ノ例デ「サイパン」アタリ
ツテスッカリ今敵ニ占領セラレテ居リ
マス、サウ云フ時ニハドウ云フ風ニシ

タラ、結局調査ヤ何カハ出來ナイノデ

○政府委員(迫水久常君)「サイパン」
ノ例ハ澤山アルノデアリマスガ、全指
ト見テ支拂フ以外ニ方法ナイト考へ
點チヨツト伺ヒタイ
○河田烈君 第二十五條ニ依ツテ普通
保険ヲ今松本委員カラ御質問ガアリマ
シタガ、「再保險ニ付スベキコトヲ命
ズルコトヲ得」ト云フ以上ハ再保險ニ
付セザルコトヲ得ルト云フコトニナル
ト思ヒマス、併シ中央會ノ方ノ立場カ
ラ云フト、元受保險會社が持ツテ來タ
所ノ再保險ハ全部之ヲ引受ケナケレバ
ナラヌコトニナルノデスカ、其ノ義務
ハナインデスカ
○政府委員(迫水久常君)「法制上中央
會ノ方ニ其ノ債務ヲ引受クベキ義務ヲ
命ジテ居ル條文ハゴザイマセヌケレド
モ、監督上ノ命令其ノ他ノ規定モゴザ
イマヌノデ、事實上ハ引受ケルコトニ
相成ルト思ヒマス
○河田烈君 此ノ項ノ法制上ノ義務ハ
ナイケレドモ、政府ノ方針トシテ全部
引受ケサセル積リデ居ルト、斯ウ承リ
マシタ、ソレカラサウスル第二十六
條ノ末段ノ「又ハ保險ノ引受ヲ命ズル
コトヲ得」ト云フノハ、是ハ中央會が
引受ケラレタ再保險ノ分配ヲ引受ケサ
セルト云フコトデゴザイマスカ
○政府委員(迫水久常君) 御質問ノ通
リデハナインデアリマシテ、此ノ末段
ノ「保險ノ引受ヲ命ズルコトヲ得」ト
云フノハ、損害保險中央會ニ於テ再保
險ヲ引受ケルヤウナ保險ニ付テハ、其
ノ保險會社ガサウ云フ保險ノ元受契約
ヲ必ズサセヨウ、斯ウ云フコトデアリ

マス、或種ノ保険ニ付キマシテ、ソ

マス、或種ノ保険ニ付キマシテ、ソレガ損害保険中央會ニ於テ再保險ヲ引受クベキモノデアルナラバ、保険會社ハ其ノ保険ヲ自分ノ都合ニ依クテ断ルヤウナ場合ニハ、ソレヲ斷ツテハイカラト云フコトヲ命ジヨウ、斯ウ云フ譯デアリマス。

○河田烈君 條文ノ説明ハソレデ分りマシタガ、中央會ニ於テ再保險ヲ引受ケテヤルヤウナコトハ、オ前ノ方デ元受ヲシロト迄命ゼラレナクトモ、成ル程危険分散カラ言フト多少アルカ知ラヌガ、第十三條ニ依ツテ自身が引受けテヤレバ宜イヤウデスガ、元受會社ニ引受ケサセテ、自分が受ケナイデモ中央會ニ依ツテ保険ヲ取ラナケレバナラナイヤウナ必要ガアルナラバ、第三條ニ依ツテ、成ル程ソレハ元受保険會社ト再保險ト二重ニナラナイ、一箇ニナルノデスカラ、理窟ダケレドモ、兎二角中央會ト云フノハ保険會社ノ經營ト見テモ宣イノデスカラ、ソレヲ引受ケテモ宜イヤウニ思ヒマスガ、尙念ノ爲ニ同條第二號ニ命令ヲ以テ其ノ範圍ヲ決スウ云フ規定ガアルノダト思フ。

○政府委員(迫水久常君) 第十九條第三號ニ依リマシテ、損害保険中央會ガ自ラ損害保険ノ元受ヲ致シマスノハ、同條第二號ニ命令ヲ以テ其ノ範圍ヲ決メルコトニナツテ居ル、大體ノ趣旨ハ一般ノ保険會社ガ引受ケルコトヲ適當トシナイヤウナモノヲ損害保険中央會ヲシテ引受セシメルノデアリマス、從ヒマシテ先程ノ御質問ノ一般保険會社ノ元受ヲ強制スルト云フ部分ハ、範囲ヲ異ニスル部分デアルト御承知ヲ願ヒマス

○松本憲治君 四十年前ノ審議ニ於キ
マシテ、假ニ適用ガナイト云フヤウナ
當時考デアツタシテモ、ソレニ拘束
サレル道理ハナイノデ、四十年ノ間ニ
ハ民法ノ原則カラ皆解釋が變ツテ居リ
マス、今果シテ適用ナイトシテ宣イノ
カ、ソレデ宣イノカト云フコトヲ言ツ
テ居ルノデス、ソレニ對シテハ、適用
ノナイト云フヤウナ續リデ居ツタモノ
ニ、裁判ガ何モナカツタ、ダカラ、ト
仰シヤルガ、ソレハ適用ガアルト云フ
タ管デス、裁判ガナカツタ云フコト
カラ、ソレガ適用ガナインント云フコ
トヲ、主張シテ裁判ヲシタ人ハナカツ
コトハ誰が考ヘテモ常識上當然デアル
シタ云フコトデ、只限セト云フ、ソ
ンナ亂暴ナコトヲ言フ人ハ有リ得ナ
イ、適用ガアルト誰モ嘗識上思ツテ居
ルカラ、有リ得ナイカラ、裁判ガナカ
ツタ云フコトデ、今度ハ其ノ適用ガナイト云フコ
トニ、此ノ立法ニ依ツテ、不幸ニシテ
斯ウ云フコトニナサツタラ、是カラ裁
判ガ澤山出テ、飛ンデモナイ法律上ノ
安全ヲ缺クコトニナル、是ハ由々シキ
大事デ、私ハ斯ウシタ方ガ宜イトカ云
フヤウナコトニ付テハ、嘗テ自分ノ一
己ノ見解ヲ強ヒテ主張スルコトハ致シ
テ居リマセヌ、併シナガラ斯ウシナケ
レバナラヌト云フコトニ付テハ、何處
迄モ成ルコトヲ希望スル、斯ウシナケ
参リマスコトガ正當ナリト信ジタ次第
デゴザイマス

レバ動産ノ安全ガ缺クテシマフ、一旦
工場財團其ノ他ノ財團目録ト云フモノ
ニ記載ナルモノニナツテ來ルト、ソ
レハ不融通物ダ、即時取得モ出來ナナイ
シ、取得時效ニモ掛ケル譯三行カヌ、
如何ナル時モソレ持ツテ居ル人ガ
居ルト、元ノ人ガ來テ取戻シテ一文ノ
金モヤラス、左様ナコトハ常識上考ヘ
ラレルコトデハナインデス、ソレ程ノ
コトニナルヤウナ立法ハ、是ハ誤ツテ
起案サレタモノノト思フ、左様ナ趣意デ是
ハサレテ居ルノデヤナイ、唯此ノ十五
條ノ第一項ノヤウナ目録ニ細カク書イ
テナイモノニ付テハ、モウ抵當權ハ及
バナイノダ、全然抵當權ノ方ガ負ケル
ノダト云フコトダケラ書キタイノデは八
出来テ居ル、其ノコトハサウデアルト
云フ御答辯ヲ昨日モ得テ、ソレハキウ
明白ナンデス、ソレデアルノニ、其ノ
結果トシテ大變ナ事が起ツテ來ルノ
ヲ、ソレハ何處迄モノレデ宜イノダト
云ブコトハ、苟モ法律ヲ心得テレテ居
ル方々ガ、良心ヲ以テ私ハ言ヘナイコ
トダト思フ、是ハ何處迄モ天下ノ公論
ニ懇ヘテデモ、私ハ斯ラ云フ間違ツタ
コトニナツテ、動産取引ノ安全ヲ缺ク
ヤウナコトニナルコトニ對シテハ、何
處迄モ實ハ爭フ積リデ居リマス、是ハ
サウデアルガ、只今私ノ申シタコトニ
付テ、何カ御議論ガアルナラバ何時迄
デモ致シマス、何時間デモ私ハ出來ル
積リデ居リマス、御答ガナクテモ宜シ
リマス物件ニ付テハ、百九十二條以下

三條ノ適用ナシト解釋シテ、工場財團監督ノ抵當權者ヲヨリ重ク保護シテ參リマス。スコトガ、工場財團制度ヲ認メマンダ。趣旨カラ見マシテモ、其ノ點ニ於テ動産取引ノ上カラ第三者ノ犠牲ニナル場合ノアルコトハ差支ナシト云フ見解ヲ執ツテ居ル次第デゴザイマス。

○松本義治君 只今ノ御話へ、差支ナシト云フダケナラ、何ガ故ニサウ解ナケレバナラヌノカ、サウシテ左様ナル解釋ニ基イテ今度ハ立法ニ依ソテ、適用ノナイモノダト云フコトヲ確定シナケレバナラヌカ、サウ云フ立法ヲ體ミナサルノハ何ノ爲デアルカ、政府ノ行政官ノ御解釋ハ御自由デ、ドウトデモ、從來適用ハナイト御解釋ニタナラバ、裁判所ノ解釈ハ恐ラクハ違ツテ居ツタラウト私ハ思フ、然ルニツテモ宣シウゴザイマス、併シ私ハ、若シ其ノ問題が既ニ起ツテ居ツタシダント云フコトヲ確定シヨウト云フ、サウ云フコトヲ確定シナケレバナラヌ理由ヲ伺ツテ居ル、適用ノナイト云フ解釋ヲ採ツテ居ル、ソレデ差支ナイト思フト云フコトハ、ソレハソレデモ、サウ云フ御意見モ同ツテ置イテモ宜シテ、何故サウシカレバナラヌノカイガ、ソレダケノ問題デヤナイ。今迄ハ少クトモ私ノヤウナ説ガ成リ立チ得ルヤウニ、即チ適用ガアルトシテ第三ノ保護ヲ圖リ得ルヤウナ餘地ガアツタモノヲ、今度餘地ノナイモノニシテ云フコトヲ伺ヒタ、私ハ私ノ申シタヤウナ假ニ修正ヲ致シマシテモ、適用ノアルトカナイトカ云フコトヲ直接ニ決メルモノデハナイ、ダカラ政府ノ

トハ如何ニ考へテモ有り得ナイ、原案ノ趣意ヲ傷ケルカライケナイト云フヤウナコトデ御反対デモアルナラバ別デスガ、左様デハナクシテ、政府ハ斯ワ云フヤウニ解釋シテ居タカラ何處迄モ其ノ解釋ニ基イテ居ル、其ノ解釋ニ基ヅカレルニハ御自信が強イコトデ結構デアリマスガ、其ノ結果大變ノコトニナルガ、サウ云フコトニ確定ラシナケレバナラヌ理由ガ何處ニアルカ、解釋ニ餘地ヲ残シテ置イタ方ガ宜イノダヤナイカト云フコトニ付テ私ハ伺ヒタインデスガ、是ハ御答辯ハ私ハ出来マイ如何ニ答辯ヲシヨウト思ツテモ、私ハ出來ナイヤウニ思ヒマスノデ、出來ナケレバシテ戴ク必要ハアリマセヌ、若シサウシナケレバナラヌト云フ、何カ理由ガアルナラバ伺ヒマス

○政府委員(齋藤直一君) 再び、御言葉ヲ返スヤウデアリマスガ、現行法ノ財團組成物件ニ付キマシテ、百九十二条ノ適用アリヤ否ヤノ解釋ハ、或ハ兩様ニ相成ルカモ知レマセヌガ、政府ハ立法當時ノ事情ト、今日ノ事情ト變ツテ居リマセヌト見テ、何處迄モ長年解釋シテ参リマシタコト其ノ儘今度ノ法案ニ關聯致シマシテモ強ク維持シタイト考へ、從ツテ今回ノ規定ノ結果、其ノ解釋ヲ明確ニシテ置クコトヲ是ナリト信ジマシタガ故ニ、十五條第二項ノ如キ條文ノ書キ現ハシ方ニ致シタ所以デゴザイマス

○松本熙治君 政府が從來サウ云フ解釋ヲ維持シテ來タト云フコトヲ御主張ニナルガ、何處ニサウ云フ證據ガアリマスカ、ソレヲ何ヒタイ、サウ云フ何モ根據ノナイコトヲ白々シク言ハレルコトダケハ止メテ貰ヒタイ、何處ニ根據ガアルカ見セテ戴キタイ、政府が從

云フ證據ガアリマスカ、四十年間ノ政府ハソンナ愚昧ナ政府デアツタカト云フコトヲ、何處ニ證據ガアツテサウ云ナラバ、明確ナ證據ガアルナラバ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス
○政府委員(齋藤直一君) 只今四十年來、證據ニ基イテサウ云フ解釋ヲ執ツテ來タト云フコトニ御取り戴キマスト、私ノ申シ方ガ悪クテ相濟ミマセヌデシタガ、先刻モ申上ゲマシタヤウニ立案當時ノ議會ノ速記錄ニ基キマシテ解釋シテ居リマスコトハ、其ノ後法律ノ改正ヲ見ナ限リ其ノ解釋ヲ續ケテ居ルト解スル外ナイ、斯ウ云フ意味ニ御取リテ願ヒタイト思ヒマス
○松本懲治君 時時ノ材料デ、其ノ適用ノナイト云フヤウナコトヲ何カ政府委員デモ言ツテ居ラレマスカ、明瞭ニ一ツ其ノ時分ノ記録ヲ出シテ、サウシテ此處デ、若シアリトスレバ擧ゲテ戴キタイ、私ノ見タ所デハアリマセヌ、ソレハドツチニデモ解スルコトノ出来ルヤウナコトハ色々論議ノ中ニアルヤウデス、併シナガラ當時適用ガナイト云フコトヲ確定シテ何カ議決デモサレテ居ル、假ニサウ云ノコトガアツテモ、私ハソレニ重キヲ置ク必要ガナイト云フコトハ昨日モ度々言ツテ居リマス、立法當時ノ委員會ノ記録位ノモノヲ以テ、大變ナ間違ツタ解釋ガ長ク行ハレルト云フヤウナコトハアリ得ナリ、裁判所ハ左様ナモノハ常ニ念頭ニシテ、來サウ云フ間違ツタ解釋ガアリマスカ、四十年間ノ政府ハソンナ愚昧ナ政府デアツタカト云フコトヲ、何處ニ證據ガアツテサウ云ナラバ、明確ナ證據ガアルナラバ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス

箇ノ場合ニ於テ裁判官ニ自由ニ解釋ヲサセタラ宜イデヤアリマセヌカ、ソレハイカヌ、ドウシテデモ適用ナイト云サウ云フ積リデ是ガ立案案ナレタトハ私ハ思ハナイ、此ノ立案案ハ唯此ノ場合ニ付テノミヲ考ヘテ立案案ナレテ居ルト思ラヌ、左様ナコトハ考ヘラレナイ、又フコトヲ確定セムト欲シテ立法シタト云フコトヲ若シ言ハレルナラ、ソレハ私ハ甚ダ失禮ナコトデアルガ嘘デアルト云フコトヲ言ハナケレバナラヌ、而シテソレヲ言フ爲ニハ、又色々ナコトヲ申スコトハアリマス、デ、私ハ併シ左様ナコトヲ申シタクモナイシ、又政府委員ヲ此ノ上、御困ラセスルコトモ不本意デアリマスカラ、御答ガナケレバ是デ止メマスガ、御答ガアレバ又申上ゲマシテ、數日ニ亘ツテデモ聞答ヲシタイ、何トナレバ是ハ非常ナ民法ニ關スル、民法ノ適用ヲ阻害スル爲ニ立法サレルト云フコトニテ怖ルベキモノデアリマスカラ、私モ實ハ民法ノ改正ニ付テノ委員會ガアリマシテ、私ハ既ニ何十年カ其ノ委員ヲシテ居リマス、而シテ現ニ其ノ委員會ノ會長ヲ仰せ附カツテ居リマス、民法ノ適用ニ付テ餘リニ何ト申シマスカ、私ノ考デハデアリマス、其ノ意味ニ於テ私ハ甚ダ不本意デアルケレドモ、斯ウ云フ急ガコトニ對シテハ、全力ヲ盡シテ之ヲ防禦スル私ハ責任ヲ持ツテ居ルト思アノデアリマス、其ノ意味ニ於テ私ハ甚ダ間違ツテ居ルコトガ出來ルヤウニナルシ、而シテ現ニ其ノ委員會ノ會長ヲ仰シイ議會ニモ拘ラズ申シテ居ル、是ハ私ノ議員タル責任、又民法ニ付テ相當ノ任務ヲ持ツテ居ル者トシテノ責任デ、甚ダ此ノ委員會ノ各位ニ對シテ

ハ、誠ニ失禮デ御迷惑ヲ掛ケルト思ヒ
マスガ、私ハ他人ノ迷惑ニハドウ政顧
慮出來マセヌノデ、此ノ點ニ付テ政府
ノ何處迄モ固執サレマシテ、態々餘計
ナコト、詰リ此ノ正面ノコトダケラ定
メレバ、私ハ政府ノ目的ハ足ルト思フ
ノデアリマス、ソレ以上ニ進ンデ、此
ノ正面ノコトト關係ノナイ一般ノモノ
ニハ適用ガナイト云フヤウナ誤解ヲ、
之ヲ極言スレバ誤解デアリマス、立法
ニ依ツテ左様ナ誤解ヲ何處迄モ通サウト
云フヤウナ非連ヲ遂グラレタイト云フ
コトノ意味ガ若シ政府ノ御行動ニアツ
タナラ、私ハ本會議ニ於キマシテモ何
時間ヲ費シテモ其ノ事ヲ申上ゲナケレ
バナラヌ、其ノ點ヲ「諒ヌ申上ゲ」マス
ガ、私ノ申スコトニ對シテ、即チ適用
ガナイト云フコトヲ確定シナケレバナラ
ヌ理由ガアルト、私ノ申スヤウニ直リ
マシテモ適用ガナイト云フコトヲ全然
否定スルモノデハナイ、ドウデモ解釋
ハ御勝手デアリマス、ソレデ目的ハ此
ノ原案ノ趣意ハシツカリ達シ得ル、併
シサウ云フ風デモイカナイ、何デモ彼
デモ適用ガナクト云フコトヲ確定シナ
ケレバナラヌト云フコトハ、餘リニモ
無理ナ御主張ノヤウニ考ヘル、私ハサ
ウ云フコトニシナケレバナラヌ理由ヲ
伺フノデアリマスガ、御答ガナケレ
バ、マアソレダケニシテ、私ノ質問ヲ
御答ナイモノニ迄シヨウトハ思ハナ
イ、併シ、御答ガアレバ又ソレニ對シ
テ何時迄デモ申上ケマス

點デアリマスルカラ、此ノ點ハモウ少シ各委員ニ於テ能ク御考ニナル時聞ヲ作ソタ方ガ御判断ノ附キが便宜デヤナカト思ヒマス、只今ハ此ノ程度デ、最早御話ヲ伺フコトヲ一時止メマシテ、他ノ問題ガマダゴザイマスルカラ、其ノ方ニ移リタイト思ヒマスガ、御意見如何デアリマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ」

○委員長(男爵東郷安君) ソレデヘ御異議ナイト存ジマスルカラ、此ノ點ハ一應此ノ程度ニ止メテ置キマス、次ニ先般富築ノ問題ニ付キマシテ、松本委員ヨリ司法省ノ見解ヲ聽キタイト云フ御要求ガアリマシタ、今日司法省ノ刑事局長が出席シテ居ラレマスカラ、是ヨリ松本委員カラ更メテ御質問ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松本潔治君 先日一應申述べマシタが、更ニ政府委員ノ御答ヲ得ル爲ニ簡單ニ同ジコトヲ重複シテ申述べマス、臨時資金調整法中ノ改正案第十條ノ十二ノ規定ハ、所謂富築ト云モノヲ認

メルモノノダト云フコトハ政府委員ノ御説明デモ能ク分ツタノデアリマス、私

ハ此ノ立法自體ニ對シテハ賛成スル者デアリマシテ、又政府ノ言ハレル以上

ニ付テ、純法律的ニ明カニシテ置キタ

ハ、刑法ノ富築ニ關スル規定ノ適用ヲ除外スルコトニナル、是ハ疑ノナイコトト思ヒマス、其ノ除外スルノハ如何

ナル法制ニ依ツテ除外スルモノト御認

ミニナリマスカ、若シ此處ニ何等カ

ノ規定ガアリマシテ、此ノ富築的ノ證券ニ對シテハ、富築ニ關スル刑法ノ規定ノ適用ハナイト云フコトヲ書イテアレバ、是レ程明確ナコトハナイト思ヒマス、併シソレハ書イテナイン、書イテナイ時ニ、是ハ富築デナイカラ適用シナイト云フコトニナルカ、或ハ國家ガハ富築デアルガ、併シ當然刑法ノ富築ニ關スル罰則ノ規定ノ適用ヲ除外スルモノデアルト云フ御解釋、即チ政府ガ斯ウ云フモノヲ拵ヘル以上ハ、當然適用ナカルベキモノデアルト云フヤウナ意味デ適用ガナイト云フヤウニ御解釋ニナルノデアラウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(船津宏君) 松本博士ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、改正案ノ御質問ノ行爲ガ富築デアルカドウカト云フ點ニ付キマシテハ、司法當局ト致シマシテハ、富築ノ一種デアルト解シテ居リマス、ト申シマスノハ、此ノ刑法ノ百八十七條ニ規定シマス富築ニ付キマシテモ、色々ナ熊様ガアルト思ヒマス、私ガ、今回法律化シヨウトシマス所ノ行

思ヒマス、サウ云フ意味デハナカラウ

○政府委員(船津宏君) 多少言葉ノ不

用意ノ嫌ガアツタカト思ヒマスガ、私ノ申上げムト致シマシタノハ、刑法總則ノ第三十五條ノ「法令又ハ正當ノ業

務ニ因リ爲シタル行爲ハ之ヲ罰セス」

○政府委員(船津宏君) 外國ニ於テ我

ガ國刑法ニ規定シマス富築ニ當ル行爲トシテ發賣シマシタモノヲ國內ニ於テ授受致シマス場合ニハ、刑法百八十七

條ノ罰則ニ該當スルト考ヘテ居リマス

○松本潔治君 只今ノ御答辯ニ私ノ疑

ヒハ總テ晴レマシタ、私ハ此ノ點ニ付

キマシテハ伺フコトハゴザイマセヌ

○委員長(男爵東郷安君) 刑事局長ニ

御尋ノ御質問ハゴザイマセヌカ、ゴ

ザイマセヌト認メマス、ソコデ前回申

上ゲマシタ通り、大體ノ質問ハ終リマシタノデスガ、更ニ遡ツテ諸案ニ付キ

テ、本件ノ富築ヲ發賣致シマス際ニ

ハ、此ノ時期、方法等、此ノ刑法デ取

締リ處罰致シマス趣旨カラシテ、出來

テ、本件ノ富築ヲ發賣致シマス際ニ

ハ、此ノ際御發言ヲ願ヒマス、別ニ御

発言モゴザイマセヌト認メテ宜シウゴ

ザイマスカ、ナイト認メマス、就キマ

シテハ先刻來御議論ノゴザイマス軍需

金融等特別措置法案ニ付キマシテハ、

是ハ後廻シニ致シマシテ、其ノ他ノ案

件ニ付キマシテ、今日諸君ニ於テ御異

矢張リ刑法ノ適用ガアルト云フ意味ノル行爲デアリマスガ故ニ、刑法ノ有效性ヲ阻却スルモノト考ヘテ居ルモノデテ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○松本潔治君 即チ實質ニ於テハ富築

性ヲ阻却スルモノト考ヘテ居ルモノデ

テ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○委員長(男爵東郷安君) 御異議ナ

ト認メマス、ソレデヘ先づ臨時資金調

定法中改正法律案、本件ニ付キマシテ

委員諸君ノ御意見ヲ伺ヒタコト

ス、尙此ノ際委員長カラ皆様ニ一ツ御

致シマスト、次ニ伺ヒタコト

ハ律令ニ依リ、或ハ省令ニ依リ、或ハ

ハ命令ニ仰シヤマシタガ、左様ナラバ

此ノ性質上阻却スルノダト云フ御趣旨

ノ御答辯ニアツタト思ヒマス、左様ニ

ハ富築デアルトカ、サウ云

カ、或ハ中華民國デヤルトカ、サウ云

フモノハ現ニアルノデハナイト思ツ

テ居リマス、或ハ軍政施行ノ地ニ於テ

何ニ基イテ居ルカ存ジマセヌガ、ヤツ

テ居ルト云フヤウナモノガアル、サウ

云フモノノラ日本デ其ノ札ヲ賣買スルト

テ居リマス、或ハ軍政施行ノ地ニ於テ

何ニ基イテ居ルカ存ジマセヌガ、ヤツ

テ居ルト云フヤウナモノガアル、サウ

云フコトハ除外スルモノト考ヘテ居ル間

テ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○松本潔治君 即チ實質ニ於テハ富築

性ヲ阻却スルモノト考ヘテ居ルモノデ

テ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○委員長(男爵東郷安君) 御異議ナ

ト認メマス、ソレデヘ先づ臨時資金調

定法中改正法律案、本件ニ付キマシテ

委員諸君ノ御意見ヲ伺ヒタコト

ス、尙此ノ際委員長カラ皆様ニ一ツ御

致シマスト、次ニ伺ヒタコト

ハ律令ニ依リ、或ハ省令ニ依リ、或ハ

ハ命令ニ仰シヤマシタガ、左様ナラバ

此ノ性質上阻却スルノダト云フ御趣旨

ノ御答辯ニアツタト思ヒマス、左様ニ

ハ富築デアルトカ、サウ云

カ、或ハ中華民國デヤルトカ、サウ云

フモノハ現ニアルノデハナイト思ツ

テ居リマス、或ハ軍政施行ノ地ニ於テ

何ニ基イテ居ルカ存ジマセヌガ、ヤツ

テ居ルト云フヤウナモノガアル、サウ

云フコトハ除外スルモノト考ヘテ居ル間

テ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○松本潔治君 即チ實質ニ於テハ富築

性ヲ阻却スルモノト考ヘテ居ルモノデ

テ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○委員長(男爵東郷安君) 御異議ナ

ト認メマス、ソレデヘ先づ臨時資金調

定法中改正法律案、本件ニ付キマシテ

委員諸君ノ御意見ヲ伺ヒタコト

ス、尙此ノ際委員長カラ皆様ニ一ツ御

致シマスト、次ニ伺ヒタコト

ハ律令ニ依リ、或ハ省令ニ依リ、或ハ

ハ命令ニ仰シヤマシタガ、左様ナラバ

此ノ性質上阻却スルノダト云フ御趣旨

ノ御答辯ニアツタト思ヒマス、左様ニ

ハ富築デアルトカ、サウ云

カ、或ハ中華民國デヤルトカ、サウ云

フモノハ現ニアルノデハナイト思ツ

テ居リマス、或ハ軍政施行ノ地ニ於テ

何ニ基イテ居ルカ存ジマセヌガ、ヤツ

テ居ルト云フヤウナモノガアル、サウ

云フコトハ除外スルモノト考ヘテ居ル間

テ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○松本潔治君 即チ實質ニ於テハ富築

性ヲ阻却スルモノト考ヘテ居ルモノデ

テ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○委員長(男爵東郷安君) 御異議ナ

ト認メマス、ソレデヘ先づ臨時資金調

定法中改正法律案、本件ニ付キマシテ

委員諸君ノ御意見ヲ伺ヒタコト

ス、尙此ノ際委員長カラ皆様ニ一ツ御

致シマスト、次ニ伺ヒタコト

ハ律令ニ依リ、或ハ省令ニ依リ、或ハ

ハ命令ニ仰シヤマシタガ、左様ナラバ

此ノ性質上阻却スルノダト云フ御趣旨

ノ御答辯ニアツタト思ヒマス、左様ニ

ハ富築デアルトカ、サウ云

カ、或ハ中華民國デヤルトカ、サウ云

フモノハ現ニアルノデハナイト思ツ

テ居リマス、或ハ軍政施行ノ地ニ於テ

何ニ基イテ居ルカ存ジマセヌガ、ヤツ

テ居ルト云フヤウナモノガアル、サウ

云フコトハ除外スルモノト考ヘテ居ル間

テ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○松本潔治君 即チ實質ニ於テハ富築

性ヲ阻却スルモノト考ヘテ居ルモノデ

テ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○委員長(男爵東郷安君) 御異議ナ

ト認メマス、ソレデヘ先づ臨時資金調

定法中改正法律案、本件ニ付キマシテ

委員諸君ノ御意見ヲ伺ヒタコト

ス、尙此ノ際委員長カラ皆様ニ一ツ御

致シマスト、次ニ伺ヒタコト

ハ律令ニ依リ、或ハ省令ニ依リ、或ハ

ハ命令ニ仰シヤマシタガ、左様ナラバ

此ノ性質上阻却スルノダト云フ御趣旨

ノ御答辯ニアツタト思ヒマス、左様ニ

ハ富築デアルトカ、サウ云

カ、或ハ中華民國デヤルトカ、サウ云

フモノハ現ニアルノデハナイト思ツ

テ居リマス、或ハ軍政施行ノ地ニ於テ

何ニ基イテ居ルカ存ジマセヌガ、ヤツ

テ居ルト云フヤウナモノガアル、サウ

云フコトハ除外スルモノト考ヘテ居ル間

テ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○松本潔治君 即チ實質ニ於テハ富築

性ヲ阻却スルモノト考ヘテ居ルモノデ

テ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○委員長(男爵東郷安君) 御異議ナ

ト認メマス、ソレデヘ先づ臨時資金調

定法中改正法律案、本件ニ付キマシテ

委員諸君ノ御意見ヲ伺ヒタコト

ス、尙此ノ際委員長カラ皆様ニ一ツ御

致シマスト、次ニ伺ヒタコト

ハ律令ニ依リ、或ハ省令ニ依リ、或ハ

ハ命令ニ仰シヤマシタガ、左様ナラバ

此ノ性質上阻却スルノダト云フ御趣旨

ノ御答辯ニアツタト思ヒマス、左様ニ

ハ富築デアルトカ、サウ云

カ、或ハ中華民國デヤルトカ、サウ云

フモノハ現ニアルノデハナイト思ツ

テ居リマス、或ハ軍政施行ノ地ニ於テ

何ニ基イテ居ルカ存ジマセヌガ、ヤツ

テ居ルト云フヤウナモノガアル、サウ

云フコトハ除外スルモノト考ヘテ居ル間

テ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○松本潔治君 即チ實質ニ於テハ富築

性ヲ阻却スルモノト考ヘテ居ルモノデ

テ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○委員長(男爵東郷安君) 御異議ナ

ト認メマス、ソレデヘ先づ臨時資金調

定法中改正法律案、本件ニ付キマシテ

委員諸君ノ御意見ヲ伺ヒタコト

ス、尙此ノ際委員長カラ皆様ニ一ツ御

致シマスト、次ニ伺ヒタコト

ハ律令ニ依リ、或ハ省令ニ依リ、或ハ

ハ命令ニ仰シヤマシタガ、左様ナラバ

此ノ性質上阻却スルノダト云フ御趣旨

ノ御答辯ニアツタト思ヒマス、左様ニ

ハ富築デアルトカ、サウ云

カ、或ハ中華民國デヤルトカ、サウ云

フモノハ現ニアルノデハナイト思ツ

テ居リマス、或ハ軍政施行ノ地ニ於テ

何ニ基イテ居ルカ存ジマセヌガ、ヤツ

テ居ルト云フヤウナモノガアル、サウ

云フコトハ除外スルモノト考ヘテ居ル間

テ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○松本潔治君 即チ實質ニ於テハ富築

性ヲ阻却スルモノト考ヘテ居ルモノデ

テ、其ノ點ハ結構ト思ツテ居リマス、アリマス

○委員長(男爵東郷安君) 御異議ナ

ト認メマス、ソレデヘ先づ臨時資金調

定法中改正法律案、本件ニ付キマシテ

委員諸君ノ御意見ヲ伺ヒタコト

ス、尙此ノ際委員長カラ皆様ニ一ツ御

致シマスト、次ニ伺ヒタコト

ハ律令ニ依リ、或ハ省令ニ依リ、或ハ

ニ移リタイト思ヒマス、御異議ゴザイ
マセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵東郷安君) ソレデハ臨

時資金調整法中改正法律案、本案ヲ可
決シテ宣シウゴザイマスカ、御異議ガ
ゴザイマスレバ承リマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵東郷安君) 全會一致ト
認メマス、本案ハ可決サレマシタ、次

ハ戰時金融金庫法中改正法律案、討論

ニ入りマス、別ニ御發言モゴザイマセ
ヌカ、御發言ガナイト認メマス、採決

ニ移リマス、別ニ御異議ガナケレバ、
可決致シテ宣シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵東郷安君) 是モ全會一
致ト認メマス、本案ハ可決サレマシ

タ、次ハ生命保険中央會法案、討論ニ
入りマス、別ニ御發言ゴザイマセヌ
カ、採決ニ入りマス、此ノ法案ヲ可決

シテ宣シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵東郷安君) 御異議ナイ
ト認メマス、全會一致ト認メマス、本

案ハ可決サレマシタ、次ハ損害保險中
央會法案、討論ニ入りマス、別ニ御發

言ガナイト認メマス、續イテ採決ニ入
リマス、是又可決致シテ宣シウゴザイ
マス方

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵東郷安君) ソレデハ全
會一致ト認メマス、本案ハ可決サレマ
シタ、最後ニ臺灣銀行法中改正法律

案、討論ニ入りマス、別段御異議ガゴ
ザイマセヌケレバ、採決ヲ致シマス、
本案ヲ可決致シテ宣シウゴザイマスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○委員長(男爵東郷安君) 御異議ナイ

ト認メマス、本案ハ可決サレマシタ、
暫時休憩致シマス

午後二時二十五分休憩

午後二時五十七分開會

○委員長(男爵東郷安君) 休憩前ニ引

續イテ開會致シマス、本日ハ此ノ程度

ニ於テ散會致シマシテ、明日ハ午後一
時カラ開會致ス豫定ゴザイマス、左

様御承知フ願ヒマス

午後二時五十八分散會

出席者左ノ如シ

委員長 男爵東郷 安君

副委員長 子爵裏松 友光君

委員

侯爵徳川 賴貞君

侯爵中山 輔親君

侯爵西郷吉之助君

伯爵柳澤 保承君

子爵宍戸 功男君

子爵大岡 忠綱君

子爵松平 親義君

子爵水野 勝邦君

有吉 忠一君

坂西利八郎君

男爵高木 壱寛君

青木 一男君

河田 烈君

旭君

瀧 有賀

竹下 正雄君

磯貝 浩君

中島徳太郎君

古莊健次郎君

岩田 三史君

柴田兵一郎君

政府委員

大藏政務次官 小笠原三九郎君

大藏參與官 田村秀吉君

大藏省總務局長 山際正道君

大藏省銀行 保険局長 追水久常君

大藏書記官 吉村成一君

司法省民事局長 福田赳夫君

司法省刑事局長 船津光男君

同 同 直一君

同 同 宏君

昭和二十年三月十七日印刷

昭和二十年三月十八日發行

貴族院事務局

印刷者 印 刷 局